

総合計画審査特別委員会記録  
(第3回)

平成29年12月19日

【開催日】 平成29年12月19日

【開催場所】 議場

【開会・散会時間】 午前9時5分～午前9時17分

【出席委員】

委員長	矢田松夫	副委員長	河野朋子
委員	伊場勇	委員	大井淳一郎
委員	岡山明	委員	奥良秀
委員	河崎平男	委員	笹木慶之
委員	水津治	委員	杉本保喜
委員	高松秀樹	委員	恒松恵子
委員	中岡英二	委員	中村博行
委員	長谷川知司	委員	藤岡修美
委員	松尾数則	委員	宮本政志
委員	森山喜久	委員	山田伸幸
委員	吉永美子		

【欠席委員】 なし

【委員外出席議員等】

議長	小野泰		
----	-----	--	--

【執行部出席者】

市長	藤田剛二	副市長	古川博三
総務部長	芳司修重	総合政策部長	川地諭
市民生活部長	城戸信之	産業振興部長	河合久雄
建設部長	森一哉	教育長	宮内茂則
教育部長	尾山邦彦	企画課長	河口修司
企画課課長補佐	河田圭司	企画課主査兼企画係長	杉山洋子
企画課主査	村田浩	企画課行革推進係長	佐貫政彰

【事務局出席者】

事務局長	中村聡	事務局次長	清水保
------	-----	-------	-----

議事係長	中 村 潤之介	書 記	原 川 寛 子
書 記	梅 野 貴 裕		

【調査事項】

- 1 議案第81号 第二次山陽小野田市総合計画に係る基本構想及び基本計画の策定について

---

午前9時5分 開会

---

矢田松夫委員長 それでは、ただいまから総合計画審査特別委員会を開会します。議案第81号第二次山陽小野田市総合計画に係る基本構想及び基本計画の策定についての審査を行います。本日は、討論、採決を行います。河野委員から本議案に対する修正案が提出されていますので、お手元に配布しています。この際、提出者から説明を求めます。

河野朋子副委員長 議案第81号第二次山陽小野田市総合計画に係る基本構想及び基本計画の策定についてに対する修正案の提出についてですが、これまで各分科会でしっかりと審査をしてきた内容を踏まえて、山陽小野田市議会会議規則第100条の規定により別紙のとおり修正案を提出します。委員各位の慎重審議をよろしくお願いします。

矢田松夫委員長 提出者の説明が終わりました。それでは、本修正案について質疑、討論、採決を行います。まず、質疑を行います。御質疑はありますか。（「なし」と呼ぶ者あり）ないので、質疑を終わります。討論を行います。討論はありますか。（「なし」という声あり）ないので、討論を終わります。これより、本修正案について採決します。本修正案に賛成の方の挙手を求めます。

（賛成者挙手）

矢田松夫委員長 全員賛成ですので、本修正案は可決されました。ただいま議決された修正案について、字句、数字その他の整理を要するものについては、その整理を委員長に委任していただきたいと思えます。異議ありませんか。（「なし」という声あり）異議がありませんので、字句、数字その他の整理は、委員長に委任することに決定しました。次に、ただいま修正議決した部分を除く原案について、討論、採決を行います。まず、討論を行います。討論はありませんか。

山田伸幸委員 議案第81号第二次山陽小野田市総合計画に係る基本構想及び基本計画の策定について反対のための討論をします。本日は委員会ですので、大まかに反対の趣旨だけ述べます。本議案は今後12年間を見据え、市がこれからどのようなまちづくりを進め、どのようなまちをつかっていくかを示すものです。しかし、そのためには行政だけでは到底なし得ることができないことは言うまでもなく、何より市民協働のまちづくりを目指すことが重要です。しかしながら、まちづくりの基本理念の始まりが「行政が果たすべき役割」ということに違和感を感じています。また、そのほか少子高齢化による人口減少の加速あるいは現状持続可能な地域社会を築くこと、さらには人口流出の抑制と出生率の向上を図り、こうした流れに歯止めを掛けていくとありますが、少子化と高齢化を同一視することに違和感を感じています。また、前白井市政が進めてきた第一次総合計画については継承のような方向にされていますが、これは部分的な事業カルテは存在していましたが、総合的な検証と評価というものが出されていません。前市政の評価を抜きにして、継承することだけを宣言することは問題があると考えています。特に前市政が掲げた「安心安全なまちづくり」は一部には市政運営上、矛盾することが多々見受けられたことが問題だと考えていますが、そのような視点が感じられません。それから基本目標に掲げている様々な重点プロジェクトや基本施策、そういった問題もいろいろ指摘しなくてはいけないものがありますが、それについては本会議において指摘していきたいと考えています。今回は、以上の趣旨で反対とします。

矢田松夫委員長 ほかにありませんか。（「なし」という声あり）以上で討論を終わります。これより採決します。修正議決した部分を除く原案について、賛成の方の挙手を求めます。

（賛成者挙手）

矢田松夫委員長 賛成多数ですので、修正議決した部分を除く部分は原案のとおり可決されました。ここで、市長から発言したい旨の申出がありましたので、許可します。

藤田市長 総合計画審査特別委員会の最終日に当たり、御挨拶させていただく機会をいただき、誠にありがとうございます。このたび第二次山陽小野田市総合計画の策定に向けましては、平成28年から取組を始め、市民の皆様にはアンケートやみらい会議、若者みらい会議、地域懇談会を通じて御意見をいただき、これを基にして、私の思いも込めながら、全庁体制で検討を重ねて素案を作成しました。また、このうち基本構想につきましては、素案を基本構想審議会にお諮りし、9か月近くにわたる熱心な御審議を経て答申をいただきました。この答申を基にして平成29年9月に素案を固め、パブリックコメントを実施して、市民の皆様からいただいた御意見を参考にして議案として調整し、市議会10月臨時会に提出させていただきました。議会におかれましては、直ちに全議員による総合計画審査特別委員会を設置され、基本構想、基本計画につきまして、担当委員会ごとにそれぞれ分科会の形式を採られ、熱心な御審査を重ねていただきました。特に、閉会中の継続審査におきましては14回にわたり、また、12月定例会の会期中においても数回にわたり慎重審査をいただき、本日に至りました。心から感謝申し上げます。審査におきましては、あらゆる角度から様々な御意見をいただき、また、修正すべき点の御指摘もいただいたところでもあります。いずれも的を射たものが多くございましたので、議会の御示唆を真摯に受け止めてまいりま

す。今後、本会議において議決をいただきました後には、市民、議会、そして行政が一体となって作り上げました、この第二次山陽小野田市総合計画に基づいて、平成30年度から12年間の市政運営に努め、この計画の将来都市像でございます「活力と笑顔あふれるまち」の実現に向け、各施策を推進していくとともに、本市の魅力を市内外に発信していくシティセールスにも積極的に取り組んでまいります。この約2か月間にわたり、議会の皆様方には格別の御尽力をいただきましたこと、執行部を代表して心より感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

矢田松夫委員長 以上で、委員会を閉会します。

---

午前9時17分閉会

---

総合計画審査特別委員会委員長 矢 田 松 夫